

「兵士」として戦う子どもたち。その数、少なくとも世界で**25万人**。

背景にあるのは、**貧困、誘拐**などの悲惨な現実。

—その先に待ち受けているのは、

身体的・精神的な深い傷、周囲からの差別、基礎的な教育の欠如

といった、さらなる問題—

彼らの**社会復帰**を支援する講師に、体験談を交えて解説していただきます。

平成29年度

国際交流講演会

6月29日(木)

13:00~14:00

2号館 104号室

※予約不要

認定NPO法人 テラ・ルネッサンス

栗田佳典氏



【講師プロフィール】

1986年生まれ。立命館大学産業社会学部卒。

生まれつきの心臓病で、13歳の時に手術。この経験から、「いのち」の大切さと「支えられることの**ありがたみ**」を知る。

大学在学中に世界の貧困問題に強い関心を持ち、1年半のインターンシップを経て、テラ・ルネッサンス※に入職。

※地雷、小型兵器、子供、平和教育を軸に国内外（東南アジア、アフリカ）で活動するNPO法人

(受賞歴:第1回 アーユスNGO 新人賞(2013))

お問い合わせ先:

13号館 2階

学事・国際交流課



知ろう。

いま、世界で起きていること。

考えよう。わたしたちに、できること。

演題 『ぼくは、十三歳。職業、兵士。ウガンダの元子ども兵から教わったこと』